

浜銀総研 News Release



2024年9月18日

3期ぶりに改善した神奈川県内中堅・中小企業の景況感

--- 企業経営予測調査 2024年9月調査結果 ---

--- 要 旨 -

2024年9月末時点での神奈川県内の中堅・中小企業の業況判断DI(業況が「良い」-「悪い」、回答社数構成比、%ポイント)は、全産業ベースで前回6月調査から4ポイント上昇して $\triangle 8$ となり、3四半期ぶりに改善した。また6月末時点での9月末予想($\triangle 9$)に対しても1ポイントとわずかに上振れした。仕入れコスト高や認証不正問題の影響が和らいで、景況感が上向いたとみられる。

製造業の業況判断DIは前回6月調査から7ポイント上昇して▲17となったものの、予想よりは下振れした。輸送機械や電子部品・デバイスの業況が大幅に改善し、一般機械も2018年以来の「悪化」超から脱した。反面で、鉄鋼・非鉄や金属製品では大幅に景況感が悪化した。

非製造業の業況判断DIは前回6月調査から1ポイント上昇して▲3となり、予想に反して上向いた。建設と卸売が「良い」超に転じ、建設は2018年6月調査以来のプラスとなった。運輸・倉庫も改善したものの、飲食店・宿泊やサービス、不動産では景況感が悪化した。

3か月先(2024年12月末)の予想については、全産業ベースで▲7と9月末実績より1ポイント上昇が見込まれる。製造業は引き続き改善が見込まれているものの、非製造業は景況感の悪化が予想されている。特に建設や飲食店・宿泊は再び「悪化」に転じる見込みである。

【本件についてのお問い合わせ先】 (株浜銀総合研究所 調査部 新瀧 健一 TEL 045-225-2375 (調査部代表)

本資料の目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、資料作成時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、講演終了後に予告なく変更することがあります。また、本資料に記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取扱いいただきますようお願いいたします。

企業経営予測調査

2024年9月実施

四半期別(第213回)結果

対象企業 神奈川県内の中堅・中小企業を中心とした1,080社

(うち製造業363社、非製造業717社)

回収率30.9% (回答企業334社、うち製造業118社、非製造業216社)

業況判断 DI

(2024年9月末)

2024年9月末時点における神奈川県内の中堅・中小企業の業況判断DI(全産業ベース、業況が「良い」-「悪い」、回答社数構成比、%ポイント)は前回6月の調査から4ポイント上昇して▲8となり、3四半期ぶりに改善した。また、6月末時点での9月末予想(▲9)に対しても1ポイントとわずかに上振れした。県内の中堅・中小企業の景況感は、コスト高に伴う採算性の悪化や認証不正問題の影響などが和らいで年前半の悪化局面から脱し、上向いた。

製造業の業況判断DIは \triangle 17となり、前回6月調査から7ポイント上昇したものの、6月末時点での9月末予想(\triangle 9)に対しては8ポイントの下振れとなった。業種別では、輸送機械(前回調査: \triangle 35→今回調査: \triangle 17)や電子部品・デバイス(同: \triangle 63→ \triangle 50)が大幅に上昇した。また、一般機械(同: \triangle 12→0)も業況判断DIが上昇し、2018年9



注2: 網掛けは神奈川県の景気後退期を示す。

出所:浜銀総研「企業経営予測調査」

月調査の+4以来6年ぶりに「悪化」超から脱した。一方、鉄鋼・非鉄(同:▲25→▲56) や金属製品(同:▲31→▲42)などでは業況判断DIが大幅に低下した。

非製造業の業況判断DIは \triangle 3となり、前回6月調査から1ポイント上昇した。6月末時点での9月末予想(\triangle 9)では悪化が見込まれていたものの、上向きに転じた。業種別に見ると、建設(同: $0\rightarrow +8$)と卸売(同: $0\rightarrow +3$)が「良い」超に転じた。建設の業況判断DIがプラスとなるのは、2018年6月調査の+7以来6年3か月ぶりのことである。また、「物流の2024年問題」を抱えて年明けから景況感が悪化していた運輸・倉庫(同: \triangle 13 \rightarrow \triangle 10)も改善に転じた。しかし、人流の正常化やインバウンド需要の回復などを背景に前回調査で改善した飲食店・宿泊(同: $+7\rightarrow$ 0)とサービス(同: \triangle 9 \rightarrow \triangle 15)では業況判断DIが低下した。また、不動産(同: \triangle 5 \rightarrow \triangle 10)も金利上昇の影響などから景況感が悪化した。

(3 か月先の予想)

2024年12月末時点の業況判断DI(全産業ベース)は▲7と、9月末実績比で1ポイントの上昇が見込まれている。製造業の業況判断DIは▲9、9月末比で8ポイント上昇し、景況感の改善が続くと見込まれている。一方、非製造業の業況判断DIは▲6と、3ポイントの低下が見込まれている。製造業は金属製品など素材型を中心に改善が見込まれているが、非製造業では景況感の悪化が予想されている。特に、建設や飲食店・宿泊などで再び「悪化」に転じることが見込まれている。

以上

足元の業況判断 DI と 3 か月先の予想

(業況判断DI:業況が「良い」-「悪い」の回答社数構成比、%ポイント)

	I		ı	1	1		_		_
	2022年	2023年	2023年	2023年	2023年	2024年	2024年	2024年	2024年
	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
		-,,,,,,	-,3.1.	-,,,,,	/3:1:	-,,,,,,	-73.11	-73:1:	(予想)
全産業	▲ 13	▲ 13	▲ 15	▲ 13	▲ 5	▲ 10	▲ 12	▲8(▲9)	▲ 7
製造業	▲ 18	▲ 27	▲ 28	▲ 27	▲ 16	▲ 23	▲ 24	▲ 17 (▲ 9)	▲ 9
電気機械	▲ 26	▲ 13	▲ 28	▲ 22	▲ 14	▲ 14	▲ 12	▲ 11 (0)	▲ 6
電子部品・デバイス	30	0	14	▲ 80	▲ 71	▲ 63	▲ 63	▲ 50 (▲ 38)	▲ 38
輸送機械	▲ 19	A 44	▲ 25	▲ 17	0	▲ 27	▲ 35	▲ 17 (0)	▲ 9
一般機械	▲ 23	▲ 9	▲ 32	▲ 11	▲ 9	▲ 20	▲ 12	0 (🛕 12)	▲ 5
金属製品	6	▲ 27	▲ 39	▲ 38	▲ 12	▲ 47	▲ 31	▲ 42 (▲ 13)	▲ 8
鉄鋼・非鉄	0	0	0	▲ 50	▲ 33	0	▲ 25	▲ 56 (▲ 50)	A 44
食料品	▲ 33	0	▲ 14	10	▲ 13	▲ 13	13	0 (38)	17
非製造業	1 0	▲ 6	A 7	A 5	1	▲ 2	A 4	▲3(▲9)	▲ 6
建設	▲ 16	A 4	▲ 16	▲ 16	▲ 16	▲ 2	0	8 (▲ 9)	▲ 3
不動産	▲ 9	0	▲ 21	▲ 15	5	▲ 5	A 5	▲ 10 (▲ 16)	▲ 10
運輸・倉庫	1 1	▲ 9	A 5	▲ 12	9	▲ 14	▲ 13	▲ 10 (▲ 13)	0
卸売	A 5	8	3	9	10	15	0	3 (▲ 6)	▲ 3
小売	1 1	▲ 8	▲ 14	A 3	9	0	A 7	▲8(▲3)	0
飲食店・宿泊	0	▲ 35	17	▲ 7	▲ 8	0	7	0 (0)	▲ 7
サービス	▲ 18	▲ 23	1 0	9	7	▲ 16	▲ 9	▲ 15 (▲ 15)	▲ 21

注: カッコ内は前回2024年6月調査(確報値)時点における2024年9月末予想である。データは2024年9月13日速報値。

なお、回答企業数が少ない業種は表示していない。

出所: 浜銀総研「企業経営予測調査|